

保健施設の個別施設計画

令和 3 年 3 月

(令和 5 年3月改定)

(令和 5 年11月改定)

奥州市健康こども部健康増進課

はじめに

○ 保健施設の現状

奥州市の保健施設は、市町村合併前の旧市町村時代の施設及びサービスを受け継ぎ、旧市町村の区域にそれぞれ1施設ずつを配置しています。

この間、経年劣化が原因の修繕等を実施しながら施設及びサービスの維持に努めてまいりました。

各施設とも健康教育、健康相談、健康診査等の保健活動を総合的に推進するとともに、市民の自主的な保健活動の場に供し、市民の健康増進を図るなど保健事業の拠点として機能しています。

○ 課題

現在の保健施設は、全て市町村合併前に整備された施設であり、整備後20年から40年を経過しているため、老朽化による修繕費や光熱水費等施設維持に必要な費用が増加傾向にあります。

保健施設は、保健事業の拠点として市民の健康の維持、増進に必要不可欠な施設ではありますが、施設を維持するための費用の増加が課題となっています。

サービスを低下させることなく継続しつつ、費用を抑える方法を検討する必要があります。

目次

1	基本事項	P 1
	(1) 計画の目的と位置づけ	
	(2) 計画期間	
	(3) 対象施設	
2	施設の現状及び将来の見通し	P 2
	(1) 保有状況	
	(2) 管理運営の状況	
	(3) 利用状況	
	(4) 更新・修繕に係る費用の見通し	
	(5) 管理・運営に係る費用の見通し	
3	供給量の適正化に関する事項	P 5
	(1) 供給量の適正化の検討方法	
	(2) 供給量の適正化のスケジュール	
	(3) 施設の延床面積の概算	
4	既存施設等の有効活用（更新・維持）に関する事項	P 11
	(1) 既存施設等の有効活用の検討方法	
	(2) 既存施設等の有効活用のスケジュール	
	(3) 更新・維持に係る費用の概算	
5	効率的な管理・運営に関する事項	P 14
	(1) 管理・運営の見直しの検討方法	
	(2) 管理・運営の見直しのスケジュール	
	(3) 管理・運営に係る費用の概算	
6	公共施設等のマネジメントによる効果	P 18
	(1) 供給量の適正化による効果	
	(2) 既存施設等の有効活用（更新・維持）による効果	
	(3) 効率的な管理・運営による効果	

1 基本事項

(1) 計画の目的と位置づけ

本計画は、平成29年3月に策定した「奥州市公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」という。）に基づき、公共施設等の老朽化問題に対応し、財政負担の軽減・平準化を目指していくため、公共施設等マネジメント（保有する公共施設等を有効活用しつつ、施設保有量の見直しや計画的な保全による施設の長寿命化を図るための取り組み）を推進していくため、保健施設に係る個別施設ごとの具体的な対応策を示すものです。

また、本計画は、国の「インフラ長寿命化計画」の行動計画（インフラ長寿命化計画＝総合管理計画）に基づく実施計画である個別施設計画（個別施設ごとの長寿命化計画）として位置づけるものです。

(2) 計画期間

本計画の計画期間は、2021年度（令和3年度）から2056年度（令和38年度）までの36年間とします。

なお、本計画は施設の将来についての対応方針を示すものであり、今後は提供するサービスへのニーズや施設を取り巻く環境の変化に応じて、適宜、見直しを図ってまいります。

(3) 対象施設

本計画の対象施設は、総合管理計画における公共施設の大分類「保健・福祉施設」－中分類「保健施設」とします。

2 施設の現況及び将来の見通し

(1) 保有状況

令和2年度末現在の施設の保有状況は次のとおりです。

施設名	整備 年度	延床面積 (㎡)	取得価額 (千円)	経過年数 (年)	法定 耐用年数 (年)
水沢保健センター	S 59	716.00	128,880	32	50
江刺保健センター	S 55	600.00	78,606	36	50
前沢健康管理総合センター	H 12	1,206.11	451,510	16	41
健康増進プラザ悠悠館	H 9	2,878.14	1,228,996	19	50
衣川保健福祉センター	H 11	1,692.47	343,902	17	38
合計		7,092.72			

(2) 管理・運営の状況

平成26年度から3年間の管理・運営の方式と管理・運営費（単位：千円）は、次のとおりです。

なお、管理・運営費には、施設の更新・修繕に係る費用を除いています。

施設名	管理運 営方式	H26歳入	H27歳入	H28歳入	H26→H28 増減率 (%)
		H26歳出	H27歳出	H28歳出	
		実質負担額	実質負担額	実質負担額	
水沢保健センター	A	0	0	0	5.6
		3,252	3,065	3,434	
		3,252	3,065	3,434	
江刺保健センター	A	0	0	0	▲23.8
		1,580	1,240	1,204	
		1,580	1,240	1,204	
前沢健康管理総合センター	A	792	792	778	▲14.9
		9,983	8,994	8,598	
		9,191	8,202	7,820	
健康増進プラザ悠悠館	A	5,758	6,541	6,828	▲14.3
		29,070	27,841	26,807	
		23,312	21,300	19,979	
衣川保健福祉センター	A	174	170	172	▲7.6
		8,268	7,373	7,651	
		8,094	7,203	7,479	
合計		6,724	7,503	7,778	▲12.1
		52,153	48,513	47,694	
		45,429	41,010	39,916	

【備考】 管理・運営方式の説明

管理運営方式の分類	サービスの提供	施設の管理	使用料、利用料金または行政財産使用料の別（歳入先）	市からの委託料
A	市	市	使用料（市）	—
B	市	指定管理者	使用料（市）	あり
C	指定管理者	指定管理者	使用料（市）	なし
D	指定管理者	指定管理者	利用料金（指定管理者）	なし
E	指定管理者	指定管理者	利用料金（指定管理者）	あり
F	指定管理者	指定管理者	歳入なし	なし
G	指定管理者	指定管理者	歳入なし	あり
H	民間	市	行政財産使用料（市）	なし
I	民間	市	歳入なし	あり
J	民間	民間	行政財産使用料（市）	なし
K	民間	民間	使用に係る料金（民間）	なし
L	民間	民間	歳入なし	なし

(3) 利用状況

平成26年度から３年間の利用状況は、次のとおりです。

施設名	種別 (単位)	H26	H27	H28	H26→H28 増減率（％）
水沢保健センター	利用者数 (人) 利用日数 (日)	56日	41日	40日	▲28.6
江刺保健センター		137日	134日	108日	▲21.2
前沢健康管理総合センター		7,830人	7,231人	6,570人	▲16.1
健康増進プラザ悠悠館		36,800人	40,114人	49,669人	35.0
衣川保健福祉センター		700日	654日	640日	▲8.6

(4) 更新・修繕に係る費用の見通し

平成26年度から3年間の修繕費用の実績（更新・対規模改修に係る費用を除く）より推計した令和3年度以後36年間の修繕費用の見通しと、総合管理計画における令和3年度以後36年間の建替え・大規模改修費用の見通しは次のとおりです。建替え・大規模改修費用は、総務省が公開している「公共施設更新費用試算ソフト」と同様の条件・単価で試算しています。

分類	更新・修繕費（千円）		
	H26～H28実績平均 値×36年（A）	建替え・大規模改修 費用（B）	計画期間中の費用 （A+B）
水沢保健センター	26,421	179,560	205,981
江刺保健センター	16,044	150,000	166,044
前沢健康管理総合センター	25,841	301,527	327,368
健康増進プラザ悠悠館	91,067	460,502	551,569
衣川保健福祉センター	57,473	270,795	328,268
合計	216,846	1,362,384	1,579,230

(5) 管理・運営に係る費用の見通し

平成26年度から3年間の管理・運営費用の実績（施設の修繕等に係る費用を除く）より推計した令和3年度以後36年間の管理・運営費の見通しは次のとおりです。

分類	管理・運営費（千円）			
	H26～H28実績合計			左記実績負担額 の平均値×36年
	歳入	歳出	実質負担額	
水沢保健センター	0	9,751	9,751	117,012
江刺保健センター	0	4,024	4,024	48,288
前沢健康管理総合センター	2,362	27,575	25,213	302,556
健康増進プラザ悠悠館	19,127	83,718	64,591	775,092
衣川保健福祉センター	516	23,292	22,776	273,312
合計	22,005	148,360	126,355	1,516,260

3 供給量の適正化に関する事項

(1) 供給量の適正化の検討

計画期間内の供給量の適正化については、総合管理計画による実施方針に基づく分類ごとの考え方を基本としながら、施設の現状を把握し、施設の性能・耐震性（ハード）と施設の必要性・利用状況（ソフト）に分けて評価を行う施設評価を実施し、総合的に検討を行いました。

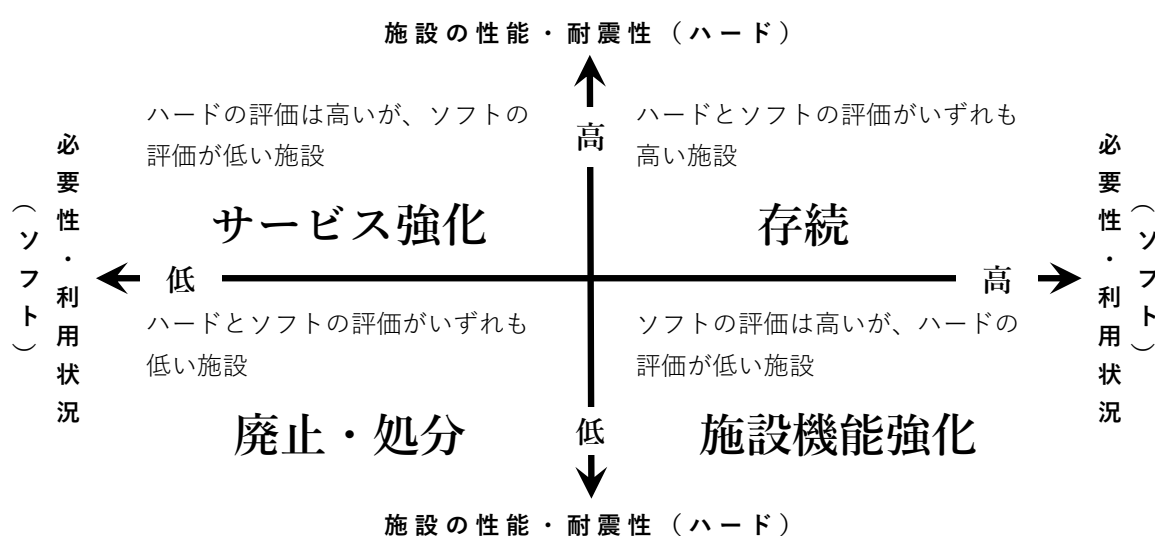
ア 供給量の適正化の基本方針

供給量の適正化の基本方針
○今後40年間で全ての施設が耐用年数を超過し、大規模修繕若しくは廃止を迫られることとなります。市民の健康の維持、増進に必要不可欠なサービスを継続して実施するため、市を取り巻く状況（人口、地域ごとの住民ニーズ、市行財政等）を十分に検証した上で、サービスに必要な環境を整備します。

イ 1次評価

1次評価は、施設担当課が耐震状況、老朽化状況、バリアフリー、利用者の負担割合、住民の負担額、稼働状況の指標から施設の現状をフローチャートにより把握し、施設の性能・耐震性（ハード）と施設の必要性・利用状況（ソフト）の2軸により、「存続」「施設機能強化」「サービス強化」「廃止・処分」の4分類に評価しました。

また、「施設や事業の必要性」「施設の有効性」「施設の管理・運営の効率性」「今後の方向性」について分析して評価しました。



区分	検討内容
存続： 現状維持したうえで、民間手法等の導入を検討	施設の機能が十分発揮されており、必要性が高く利用者の多い施設については、引き続き公共施設としての保有を検討する。
	施設の管理見直しについては、民間手法の導入を検討し、これまで以上のサービス内容の質の向上を検討する。
	ライフサイクルコスト、ランニングコストについて、サービス提供に係るコストの最適化を検討する。
施設機能強化： 耐震補強、長寿命化工事を検討	必要性及び利用率が高い施設で、老朽化等が著しい施設は、耐震補強工事や長寿命化工事を進め、施設の継続化を検討する。
	必要性及び利用率が高い施設で、利用環境や利便性が低い場合、利用者層の分析によりバリアフリー工事等で利用率の向上が見込まれるか検討する。
サービス強化： 施設目的の変更や複合化による効率性を見直し検討	利用状況及び費用対効果が低い場合は、管理方法の見直しや施設の複合化を図るなどして費用対効果の見直しを検討する。
	周辺に類似施設がある場合など、サービス内容が重複しないように施設の目的の変更を検討する。
廃止・処分： 公共施設としては廃止し、建物の解体、処分を検討	当初の設置目的が果たされた施設や利用率が低い場合、公共施設として保有する必要性があるか検討する。
	民間施設等の類似施設が整備され、公共施設として保有する必要性があるか検討する。

ウ 2次評価

2次評価は、マネジメント部署が次に掲げる公共性、有効性、効率性、代替性、特質性の観点を加味し、施設の性能・耐震性（ハード）と施設の必要性・利用状況（ソフト）の2軸により、「存続」「施設機能強化」「サービス強化」「廃止・処分」の4分類に評価しました。

区分	内容
公共性	法律等により設置が義務付けられているか
	住民の安全・安心の確保等、生活を営む上での必要性は高いか
	市の施策を推進する上での必要性は高いか
	設置目的の意識が低下していないか
	サービス内容が設置目的に即しているか
	利用実態が設置目的に即しているか
有効性	利用者数等の見込みはどうか
	利用実態からみた利用圏域はどうか
	施設（敷地・建物）に余裕スペースがないか
効率性	民間事業者のノウハウが活用できるか
	支出に対する利用料金等の収入割合はどうか
代替性	利用圏域内に民間又は国県による同種のサービスを提供している施設があるか
	他自治体との広域的な連携が可能か
	民間施設等を利用した利用補助等で対応できるか
特質性	歴史的、文化的、象徴的のある施設か
	再編の検討にあたり、施設整備に係る国庫補助金、起債の償還、施設用地の借地契約期間等に制限はあるか
	施設整備に係る管理・利用団体等からの負担はあるか
	浸水想定区域、土砂災害警戒区域等内に設置されている施設か
	避難所、投票所等に指定されているか

エ 総合評価

供給量の適正化の基本方針及び1次評価と2次評価の結果等を踏まえ、施設の必要性や利用状況に対応した「サービス」及び施設の性能や耐震性に応じた「建物等」の2区分について、計画期間内の供給量の適正化を検討し、最終的な評価を行いました。

区分	評価	内容
サービス	継続	現在のサービスを継続して提供します。
	追加	現在のサービスの継続に合わせ、他の公共施設におけるサービスを追加します。
	新規	新たなサービスを提供します。
	廃止	現在のサービスを廃止します。他の公共施設へサービスを統合し、廃止する場合も含まれます。
建物等	維持	現在の建物等を補修しながら維持します。複数棟ある施設について、一部の建物等を解体撤去する場合も含まれます。
	大規模改修	長寿命化等を図るため、建物等を全面的に修繕します。
	建替え	機能の複合化等を図るため、建物等を建替えます。
	新築	新たなサービスの提供や複合化等に伴い、建物等を新築します。
	増築	新たなサービスの提供や複合化等に伴い、建物等を増築します。
	既設	新たなサービスの提供に伴い、既存の建物等を利用します。
	用途変更	サービスの廃止または複合化に伴い、用途を変更します。
	譲渡	現在の建物等を民間事業者等へ譲渡します。
	解体撤去	現在の建物等を解体して撤去します。

オ 評価結果

施設名	1次評価	2次評価	総合評価	
			サービス	建物等
水沢保健センター	存続	廃止・処分	継続	解体撤去
江刺保健センター	存続	施設機能強化	継続	建替え
前沢健康管理総合センター	存続	施設機能強化 又は廃止・処分	継続	建替え
健康増進プラザ悠悠館	存続	施設機能強化	継続	大規模改修
衣川保健福祉センター	存続	サービス強化	継続	維持

(2) 供給量の適正化のスケジュール

総合評価において、サービスを「追加」「新規」又は「廃止」と評価した施設、また、建物等を「大規模改修」「建替え」「新築」「増築」「譲渡」「解体撤去」と評価した施設については、施設の適正化スケジュールを4期に分けて次のとおり検討しました。

分類名	保健施設	施設名	水沢保健センター	
総合評価	サービス	継続	建物等	解体撤去
スケジュール	2021（R3）～	2027（R9）～	2037（R19）～	2047（R29）～
	サービス	継続	継続	継続
	建物等	維持保全	—	解体撤去
延床面積増減	減（㎡）	716.00	増（㎡）	—
供給量適正化の具体策	施設の老朽化を踏まえ、令和26年度を目途に施設廃止、令和31年度を目途に解体撤去します。サービス継続のため、既存の類似施設を利用します。			

分類名	保健施設	施設名	江刺保健センター	
総合評価	サービス	継続	建物等	建替え
スケジュール	2021（R3）～	2027（R9）～	2037（R19）～	2047（R29）～
	サービス	継続	継続	継続
	建物等	維持保全	建替え	維持保全
延床面積増減	減（㎡）	—	増（㎡）	—
供給量適正化の具体策	サービスの提供及び施設の供用を維持するとともに、令和23年度を目安に建替えます。			

分類名	保健施設	施設名	前沢健康管理総合センター	
総合評価	サービス	継続	建物等	建替え
スケジュール	2021（R3）～	2027（R9）～	2037（R19）～	2047（R29）～
	サービス	継続	継続	継続
	建物等	維持保全	維持保全	大規模改修 建替え
延床面積増減	減（㎡）	—	増（㎡）	—
供給量適正化の具体策	サービスの提供及び施設の供用を維持するとともに、複合施設であることから、他施設の状況等も踏まえ、令和33年度までに大規模改修を実施し、本施設は令和38年（法定耐用年+5年）を目途に更新する。			

分類名	保健施設	施設名	健康増進プラザ悠悠館	
総合評価	サービス	継続	建物等	大規模改修
スケジュール	2021（R3）～	2027（R9）～	2037（R19）～	2047（R29）～
	サービス	継続	継続	継続
	建物等	維持保全	維持保全	維持保全
延床面積増減	減（㎡）	—	増（㎡）	—
供給量適正化の具体策	サービスの提供及び施設の供用を維持するとともに、施設の老朽化を踏まえ、令和28年度を目途に大規模改修を検討します。			

分類名	保健施設	施設名	衣川保健福祉センター	
総合評価	サービス	継続	建物等	維持
スケジュール	2021（R3）～	2027（R9）～	2037（R19）～	2047（R29）～
	サービス	継続	継続	継続
	建物等	維持保全	維持保全	維持
延床面積増減	減（㎡）	—	増（㎡）	—
供給量適正化の具体策	サービスの提供及び施設の供用を維持するとともに、老朽化を踏まえ、必要な修繕を最小限で実施しながら施設を維持します。			

(3) 施設の延床面積の増減

施設名	延床面積の増減（㎡）				
	2017～	2027～	2037～	2047～	合計
水沢保健センター			▲716.00		▲716.00
江刺保健センター					
前沢健康管理総合センター					
健康増進プラザ悠悠館					
衣川保健福祉センター					
小計			▲716.00		▲716.00

4 既存施設等の有効活用（更新・維持）に関する事項

(1) 既存施設等の有効活用の検討方法

計画期間内の既存施設等の有効活用については、総合管理計画による基本方針（老朽化の状況や利用実態及び需要の見通しを踏まえた、計画的な更新、品質の保持や機能の改善）及び「3 供給量の適正化に関する事項」の「(2) 供給量の適正化スケジュール」に基づき、次の方法で検討を行いました。

ア 既存施設等の有効活用（更新・維持）の基本方針

既存施設等の有効活用（更新・維持）基本方針	
○今後40年間で全ての施設が耐用年数を超過し、大規模修繕若しくは廃止を迫られることとなります。維持保全、建替え、大規模修繕により、各地域でのサービスを継続します。	

イ 更新・維持の区分

区分	評価区分の適用	内容
更新	大規模改修、建替え、新築、増築	長寿命化や機能の複合化、新たなサービスの提供に伴う建物全体の更新
維持	維持	○建築（屋根・外壁等）、電気設備（受変電設備等）、機械設備（空調設備等）、昇降機設備等の代表的な部位に係る予防・補修 ※部位別に予防・補修時期を設定 ※構造別に使用目標年数を設定 ○耐震化、バリアフリー化、省エネルギー設備の導入等

ウ 更新・維持に係る費用の算出方法

現に具体的な更新・維持の計画があるものを除き、計画期間内において必要とされる更新・維持に係る費用は、次の方法で算出しました。

区分	内容
更新	市が統一的に用いる「再調達価格」を基に、更新時の解体費用等も考慮して算出
維持	○国土交通省が定める「新営予算単価」を基に、施設の用途別に部位ごとの構成比率等を設定し、予防・補修に係る費用を算出 ○当該施設における過去の実績や他の公共施設での実績等を基に費用を算出

エ 更新・維持の優先順位

防災面での拠点的役割を果たす施設や不特定多数の利用者がある施設を優先するとともに、更新・維持履歴や点検結果等による施設の劣化状況に応じて、更新・維持の優先順位を検討しました。

(2) 既存施設等の有効活用スケジュール

更新・維持の優先順位を考慮しながら、施設の長寿命化、財政負担の平準化を行うため、更新・維持スケジュールを4期に分けて次のとおり検討しました。

分類名	保健施設	施設名	水沢保健センター	
総合評価	サービス	継続	建物等	解体撤去予定
スケジュール	2021（R3）～	2027（R9）～	2037（R19）～	2047（R29）～
更新内容	—	—	—	解体撤去
維持内容	維持保全	維持保全	維持保全	—
更新・維持の 具体策	令和31年度の解体まで経年劣化等による必要な修繕を最小限で実施します。			

分類名	保健施設	施設名	江刺保健センター	
総合評価	サービス	継続	建物等	建替え
スケジュール	2021（R3）～	2027（R9）～	2037（R19）～	2047（R29）～
更新内容	—	—	建替え	—
維持内容	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全
更新・維持の 具体策	令和23年度の建替えまで経年劣化等による必要な修繕を最小限で実施します。			

分類名	保健施設	施設名	前沢健康管理総合センター	
総合評価	サービス	継続	建物等	建替え予定
スケジュール	2021（R3）～	2027（R9）～	2037（R19）～	2047（R29）～
更新内容	機械設備（給水）	—	—	大規模改修 建替え
維持内容	電気設備（受電）	維持保全	維持保全	維持保全
更新・維持の 具体策	建物の法定耐用年が経過する令和33年度までに大規模改修を実施し、本施設は令和38年（法定耐用年+5年）を目途に更新する。			

分類名	保健施設	施設名	健康増進プラザ悠悠館	
総合評価	サービス	継続	建物等	大規模修繕予定
スケジュール	2021（Ｒ３）～	2027（Ｒ９）～	2037（Ｒ19）～	2047（Ｒ29）～
更新内容	機械設備（空調・給水）	大規模改修	—	—
維持内容	電気設備（照明）	維持保全	維持保全	維持保全
更新・維持の 具体策	建物の法定耐用年が経過する令和28年度までに大規模改修を実施し、本施設は令和48年（法定耐用年+30年）を目途に更新する。			

分類名	保健施設	施設名	衣川保健福祉センター	
総合評価	サービス	継続	建物等	維持
スケジュール	2021（Ｒ３）～	2027（Ｒ９）～	2037（Ｒ19）～	2047（Ｒ29）～
更新内容	—	—	—	—
維持内容	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全
更新・維持の 具体策	経年劣化等による必要な修繕を最小限で実施し、施設を維持します。			

(3) 更新・維持に係る費用の概算

次に示す実施時期や費用は、今後の既存施設等の有効活用に向けた目安とするものです。

施設名	更新・維持 の別	更新・維持費用（千円）				
		2021（Ｒ３） ～2026（Ｒ8）	2027（Ｒ9）～ 2036（Ｒ18）	2037（Ｒ19）～ 2046（Ｒ28）	2047（Ｒ29）～ 2056（Ｒ38）	合計
水沢保健センター	更新	0	0	0	0	0
	維持	600	1,000	800	0	2,400
江刺保健センター	更新	0	0	150,000	0	150,000
	維持	2,676	4,460	3,122	2,230	12,488
前沢健康管理総合センター	更新	12,227	0	0	384,000	396,227
	維持	25,942	7,180	7,180	5,026	45,328
健康増進プラザ悠悠館	更新	116,526	575,628	0	0	692,154
	維持	119,094	22,770	25,300	25,300	192,464
衣川保健福祉センター	更新	0	0	0	0	0
	維持	8,976	14,960	14,960	14,960	53,856
合計		286,041	625,998	201,362	431,516	1,544,917

5 効率的な管理・運営に関する事項

(1) 管理・運営の見直しの検討方法

計画期間内の管理運営については、総合管理計画による効率的な基本方針（管理システムの構築や全庁的な推進体制を確立し、情報の共有と一元管理。P F I や指定管理者制度などP P P手法を用いた民間活力の導入）並びに「3 供給量の適正化に関する事項」の「(2) 供給量の適正化スケジュール」及び「4 既存施設等の有効活用（更新・修繕）に関する事項」の「(2) 既存施設等の有効活用のスケジュール」に基づき、次の方法で検討を行いました。

ア 管理・運営の基本方針

管理・運営の基本方針	
○	今後も市の直営による管理を継続します。
○	事業内容の見直し等により経費を削減するなど、効率的な管理・運営に努めます。

イ 管理・運営の区分

区分	管理運営分類	内容
サービス提供	直営	市がサービスを提供します。
	指定管理	指定管理者がサービスを提供します。
	民間委託	サービスの提供を民間に委託します。
	民営	サービスの提供を民営化します。
	廃止	サービスの提供を廃止します。
建物管理	直営	市が建物等を管理します。
	指定管理	指定管理者が建物等を管理します。
	民間委託	建物等の管理を民間に委託します。
	民営	建物等の管理を民営化します。
	解体撤去	建物等を解体撤去します。

ウ 管理・運営に係る費用の算出方法

管理・運営の見直しの検討内容に基づき、サービスの提供による収入、管理・運営に係る費用について、次の方法で検討を行いました。

区分	費用分類	内容
収入	全般	市の歳入になるもののみとし、過去３年間の平均値に一定の割合を減じて算出
支出	施設管理委託料	施設の管理を民間又は団体に委託した場合の費用で、過去３年間の平均値
	事業運営委託料	施設で行う事業を民間又は団体に委託した場合の費用で、過去３年間の平均値
	直営管理費	直営で施設を管理する場合の費用で、過去３年間の平均値
	直営事業費	直営で事業を実施する場合の費用で、過去３年間の平均値
	光熱水費	電気、水道、ガス等の費用で、過去３年間の平均値に一定の割合を乗じて算出
	解体撤去費	解体撤去の費用で、延床面積に一定の単価及び割合を乗じて算出

(2) 管理・運営の見直しスケジュール

管理・運営の見直しの検討内容に基づき、管理・運営の見直しスケジュールを４期に分けて次のとおり検討しました。

分類名	保健施設	施設名	水沢保健センター	
総合評価	サービス	継続	建物等	解体撤去
スケジュール	2021（Ｒ３）～	2027（Ｒ９）～	2037（Ｒ19）～	2047（Ｒ29）～
サービス	直営	直営	直営	直営
建物管理	直営	直営	直営	—
管理運営の具体策	サービス継続のため、施設廃止後は既存の類似施設を利用します。			

分類名	保健施設	施設名	江刺保健センター	
総合評価	サービス	継続	建物等	建替え
スケジュール	2021（Ｒ３）～	2027（Ｒ９）～	2037（Ｒ19）～	2047（Ｒ29）～
サービス	直営	直営	直営	直営
建物管理	直営	直営	直営	直営
管理運営の具体策	サービス継続のため、管理・運営を継続します。			

分類名	保健施設	施設名	前沢健康管理総合センター	
総合評価	サービス	継続	建物等	建替え
スケジュール	2021（R 3）～	2027（R 9）～	2037（R19）～	2047（R29）～
サービス	直営	直営	直営	直営
建物管理	直営	直営	直営	直営
管理運営の具体策	サービス継続のため、管理・運営を継続します。			

分類名	保健施設	施設名	健康増進プラザ悠悠館	
総合評価	サービス	継続	建物等	大規模改修
スケジュール	2021（R 3）～	2027（R 9）～	2037（R19）～	2047（R29）～
サービス	直営	直営	直営	直営
建物管理	直営	直営	直営	直営
管理運営の具体策	サービス継続のため、管理・運営を継続します。			

分類名	保健施設	施設名	衣川保健福祉センター	
総合評価	サービス	継続	建物等	維持
スケジュール	2021（R 3）～	2027（R 9）～	2037（R19）～	2047（R29）～
サービス	直営	直営	直営	直営
建物管理	直営	直営	直営	直営
管理運営の具体策	サービス継続のため、管理・運営を継続します。			

(3) 管理・運営に係る費用の概算

次に示す管理・運営費は、今後の効率的な管理・運営に向けた目安とするものです。

施設名	管理・運営費（千円）								
	2021(R 3)～2036(R18)			2037(R 19)～2056(R38)			合計		
	収入	支出	実質 負担額	収入	支出	実質 負担額	収入	支出	実質 負担額
水沢保健センター	0	48,000	48,000	0	24,000	24,000	0	72,000	72,000
江刺保健センター	0	24,000	24,000	0	29,400	29,400	0	53,400	53,400
前沢健康管理 総合センター	37,792	256,000	218,208	23,620	304,000	280,380	61,412	560,000	498,588
健康増進プラ ザ悠悠館	114,762	445,000	330,238	191,270	500,000	308,730	306,032	945,000	638,968
衣川保健福祉 センター	3,096	80,000	76,904	5,160	100,000	94,840	8,256	180,000	171,744
合計	155,650	853,000	697,350	220,050	957,400	737,350	375,700	1,810,400	1,434,700

6 公共施設等のマネジメントによる効果

(1) 供給量の適正化による効果

計画前の延床面積 A	計画期間後の延床面積 B	計画前後の延床面積の増減 【増減割合】
7,092.72㎡	6,376.72㎡	▲716.00㎡【▲10.0%】
主な要因		
○解体撤去による減 ▲716.00㎡		

(2) 既存施設等の有効活用（更新・維持）による効果

計画前の更新・維持費の見込み A	計画期間中の更新・維持費 B	計画前後の更新・維持費の増減 【増減割合】
1,579,230千円	1,544,917千円	▲34,313千円【▲2.1%】
主な要因		
○更新、解体撤去による費用の減 ▲34,313千円		

(3) 効率的な管理・運営による効果

計画前の管理・運営費の見込み A	計画期間中の管理・運営費 B	計画前後の管理・運営費の増減 【増減割合】
1,516,260千円	1,434,700千円	▲81,560千円【▲5.3%】
主な要因		
○供給量の適正化（更新、廃止／解体撤去等）による減 ▲81,560千円		